

一般質問



国道245号拡幅に伴う 阿漕ヶ浦公園等の駐車場確保について

みらいの会 高橋 昭 議員

議員 国道245号拡幅工事に伴い阿漕ヶ浦公園およびさわやかトイレ周辺の駐車場が減少し、阿漕ヶ浦公園で開催する花火大会・さくらまつり等のイベントや正月の虚空蔵尊等の参詣には相当数の利用が想定されるため、新たな駐車場を確保する必要があると考えます。

現在のさわやかトイレ周辺は緑地保全からもこれ以上の拡張はできません。そのため阿漕ヶ浦公園の南側の村道を挟んだ中畑の多い地区を駐車場として確保する必要があると考えますが見解を伺います。

また、245号拡幅工事により、宿区の家屋移転に伴う代替地として茨城東病院（旧晴嵐荘病院）の官舎跡地を希望する場合は、仲介の労を取っていただきたいことを、お伺いいたします。

建設水道部長 国道245号の整備計画の概要ですが、旧サイクル機構より阿漕ヶ浦公園入口まで延長1100メートルであり、現道幅員12メートル2車線を、22メートル4車線に拡幅するものであります。

この工事に伴う阿漕ヶ浦公園およびさわやかトイレ周辺の駐車場が、それぞれ減少いたします。阿漕ヶ浦公園利用者ばかりでなく、さくらまつり、東海まつり花火大会等のイベントや、お寺・神社の正月や節分の参詣客の利用が多くありますので、観光拠点や地域活性化のため、駐車場が減少することについては拡張をすることで関係課と協議していきたいと考えます。

また、245号の拡幅工事のうち宿区については、用地測量も終わりに現在物件補償の調査をしております。工事も旧サイクル機構の交差点から始めていくとのこと。地元説明会の際、地権者から代替地等の話題がありました。具体的な個別交渉に入るのには調査が終わる頃になる予定であります。宿区の街づくりの観点からも、長年培われてきた地域コミュニティへの影響のないよう茨城東病院の官舎の跡地については、県の職員に同行して積極的に交渉をしていきたいと考えております。



地域公共交通のあり方を見直すべき

新和とうかい 越智 辰哉 議員

議員 東海駅から茨城東病院方面へのバス路線が、6月末をもって廃止されることと決定したが、路線廃止に至るまでの経過と村の考え方は？

理事兼企画政策部長 茨城交通より、平成21年3月に当該路線が不採算路線であるとして4月末での路線廃止の申し入れがあった。村としては、生活交通路線であることから、茨城交通に路線存続を求めるとともに、利用者の多い茨城東病院や原子力研究開発機構に対して路線存続の協力要請を行ってきたが、存続につながる提案が成されず、結果として6月末での廃止に至った。

当面は、路線廃止の影響を見極めながら、現状の「デマンドタクシー」

を核として、さらに使いやすいものに充実させていくことを考えている。

議員 「デマンドタクシー」はシステムの制約から車の台数をこれ以上増やせないと同っている。また、高齢化の急速な進展により、利用者が増加することが想定される。よって、早急に何らかの対策を講ずるべく、今後の地域公共交通のあり方を見直す必要があるのではないかと？

例えば、現行の「デマンドタクシー」を基本とし、デマンドの利用者の多い地区を結んで巡回バスを走らせれば、より多くの住民が利用できる新しいシステムが構築できるのではないかと？

理事兼企画政策部長 「デマンドタクシー」導入時にかなりの調査分析を実施しており、「ドア・ツー・ドア」形式のニーズが高かったことから、事業実施に踏み切った経緯がある。よって、現状のシステムを中心に考えながら、同時に多方面から検証を行い、今後の地域公共交通のあり方を議論することが必要である。

